

般ニ認ムル所ニシテ製鹽業者ハ專賣ヲ希望シ賴テ以テ鹽業保護ノ基ヲ爲サムコトヲ期シ販賣業者ハ民業ヲ殺クノ不理ヲ唱ヘ一時ノ財源ヲ求ムルニ永久的ノ施設ヲ爲スノ過レルコトヲ説キ消費稅說ヲ主張シ各相起テ輿論ニ訴フルニ至レリ

此ノ際ニ於テ直ニ影響シタルモノハ鹽價ニシテ明治三十七年三四月頃生産地ニ在リテハ下落シテ一石九十錢迄ニ暴落ヲ見ルニ至リ製鹽業者ハ稍、困難ノ狀ヲ見ルニ至リシニ專賣法案ヲ議會ニ提出スルニ及ヒテヤ俄ニ騰貴ノ趨勢アリテ十一月ニ及ヒ香川縣下ニシテ一石二圓以上ニテ取引ヲ見ルニ至リ德島縣下ニ在リテモ二斗五升入一俵普通二十四五錢ノモノ倍價五十錢以上ニ奔騰スルニ至レリ蓋シ專賣實施後ニ於ケル政府ノ賣下價格ハ一石約四圓位ト見積リ見越買占ヲ爲スニ因ルモノノ如シ

第一款 鹽專賣法案ノ提出

時局ハ益々發展シ軍費ノ支出愈々多キヲ加フルニ及ヒ第一次ノ增收計畫ハ以テ必要ノ全部ヲ充スニ足ラスシテ更ニ第二次ノ增收計畫ヲ定メサルヘカラサルニ至リ鹽ニ對シ歲入ヲ求ムルノ已ムヲ得サルニ至リタルヲ以テ前記閣議ノ決定ニ基キ專賣法ヲ立案シ審議ヲ盡シ明治三十七年十月二十一日之ヲ閣議ニ提出シタリ

鹽專賣法案

第一條 政府ハ鹽ノ專賣權ヲ有ス

第二條 政府ハ便宜ノ地ニ鹽取扱所ヲ設置シ鹽ノ收納及賣渡ヲ取扱ハシム

第三條 鹽ハ政府又ハ政府ノ命ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ外國ヨリ輸入シ又ハ本法不施行

地ヨリ移入スルコトヲ得ス

第二章 專賣法ノ制定

第四條 鹽ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ製造スルコトヲ得ス

第五條 政府ハ製鹽地ノ區域又ハ鹽ノ製造期間若ハ生産高ヲ制限スルコトヲ得

官費又ハ公費ヲ以テスル鹽ノ試製ニ關シテハ前項ヲ適用セス

第六條 鹽製造者ノ製造シタル鹽ハ政府之ヲ收納ス但シ命令ノ定ムル制限數量以內ノ鹽ニシ

テ自家用ニ供スルモノ又ハ政府ヨリ賣渡シタル鹽ヲ再製シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七條 鹽ノ賠償價格ハ政府之ヲ定メ豫メ公示スヘシ

第八條 鹽ヲ製造セムトスル者ハ製鹽ノ方法採鹹地名地番製鹽段別製鹽場貯藏場及一箇年ノ

生産見込高ヲ定メ政府ニ申請シ許可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

左ノ場合ニ於テハ政府ハ鹽ノ製造ヲ許可セサルコトヲ得

一 採鹹セムトスル場所カ製鹽ニ適當ナラスト認ムルトキ

二 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者カ出願シタルトキ

三 取締上不便ト認ムル場所ニ於テ製鹽セムトスルトキ

第九條 鹽ノ製造業ト鹽ノ賣買業トハ同一ノ場所ニ於テ相兼ヌルコトヲ得ス

第十條 相續ニ因リ鹽ノ製造ヲ承繼シタルトキハ其ノ旨政府ニ届出ツヘシ

相續ニ因ルノ外鹽ノ製造ヲ承繼セムトスルトキハ政府ノ許可ヲ受クヘシ

第十一條 鹽製造者鹽ノ製造ヲ廢止セムトスルトキハ少クトモ一箇月前ニ政府ニ申告スヘシ

前項ノ期間ヲ經過セスシテ製造ヲ廢止セムトスルトキハ政府ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條 鹽製造者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ政府ハ製造ノ許可

ヲ取消スコトヲ得

第十三條 鹽製造者鹽ヲ製造シタルトキハ總テ之ヲ政府ニ納付スヘシ但シ第六條但書ニ該當

スルモノハ此ノ限ニ在ラス

政府ハ鹽製造者ヲシテ前項ニ依リ納付スヘキ鹽ヲ其ノ指定シタル者ニ引渡スヘキコトヲ命
スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府カ鹽ノ數量ヲ定メ引渡ヲ命シタルトキ製造者之ヲ政府
ニ納付シタルモノト看做ス

第十四條 鹽製造者鹽ヲ納付シタルトキハ政府ハ鑑定人ヲシテ其ノ品質ヲ鑑定セシメ相當ノ
賠償金ヲ交付スヘシ

製造者前項ノ鑑定ニ不服ナルトキハ再鑑定ヲ求ムルコトヲ得但シ賠償金ノ請求ヲ爲シタル
トキハ此ノ限ニ在ラス

再鑑定ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 鹽製造者ノ納付セムトスル鹽ニシテ其ノ品質甚シク粗惡ナルモノニ付テハ政府ハ
更ニ相當ノ處理ヲ爲シタル上納付スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第十六條 政府ハ鹽ノ製造又ハ包裝ノ方法、納付場所、納付期日及其ノ運搬通路ヲ定ムルコトヲ
得

第十七條 政府ハ定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スヘシ但シ必要ト認ムルトキハ競争ニ付スルコト
アルヘシ

第十八條 左ニ掲グル鹽ニ付テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ定價ヲ以テ之ヲ賣渡ス
コトヲ得

一 外國ニ輸出スルモノ

二 命令ヲ以テ指定スル用途ニ使用スルモノ

第十九條 政府ハ命令ヲ以テ定メタル數量以上ニ非サレハ鹽ノ賣渡ヲ爲サス

第二十條 鹽賣買業者ハ鹽ニ他物ヲ混和シテ販賣スルコトヲ得ス

第二十一條 鹽製造者及鹽賣買業者ハ帳簿ヲ調製シ政府ノ指示ニ從ヒ營業ニ關スル要件ヲ記載スヘシ

第二十二條 當該官吏ハ採鹹地製鹽場貯藏場其ノ他鹽ノ所在ト認ムル場所ニ立入り鹹水鹽器具器械建築物又ハ帳簿書類ヲ検査スルコトヲ得

當該官吏監督上必要ト認ムルトキハ前項物件ニ封印ヲ施スコトヲ得

第二十三條 當該官吏ハ運搬中ニ在ル鹽ヲ検査シ其ノ出所及到著先ヲ質問スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ當該官吏監督上必要ト認メタルトキハ其ノ運搬ヲ停止シ又ハ荷物若ハ船車ニ封印ヲ施スコトヲ得

第二十四條 許可ヲ受ケスシテ鹽ヲ製造シ又ハ許可ヲ受ケサル土地ニ於テ鹽ヲ製造シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル鹽ハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シ若ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徴ス

第二十五條 鹽製造者政府ニ納付スヘキ鹽ヲ他ニ讓渡シ若ハ消費シタルトキハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル鹽ハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ代金ヲ追徴ス情ヲ知リテ政府ヨリ賣渡ササル鹽ヲ讓渡シ又ハ讓受ケタル者亦同シ

第二十六條 鹽製造者第十三條第二項ニ依リ引渡ヲ命セラレタル鹽ノ引渡ヲ爲ササルトキハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條 鹽製造者政府ノ許可ヲ受ケタル場所以外ニ鹽ヲ貯藏シタルトキハ五百圓以上以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル鹽ハ之ヲ沒收ス情ヲ知リテ其ノ場所ヲ供與シタル者亦同シ

第二十八條 鹽製造者第五條ニ依リ政府ノ定メタル製造期間外ニ於テ鹽ヲ製造シタルトキ又ハ許可ヲ受ケスシテ第八條ニ依リ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第九條ニ違犯シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 鹽製造者正當ノ事由ナクシテ政府ノ指定シタル期日ニ其ノ鹽ヲ納付セサルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス政府ノ指定シタル運搬通路ニ依ラスシテ鹽ヲ運搬シタルトキ亦同シ

第三十一條 政府ヨリ賣渡ササル鹽ニシテ犯人以外ノ所有ニ係ルモノハ政府之ヲ收納スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第十四條ニ準シ賠償金ヲ交付ス

第三十二條 鹽製造ノ廢止又ハ承繼ノ届出ヲ爲サス若ハ之ニ關シ許可ヲ受ケサル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條 鹽賣買業者第二十條ノ規定ニ違犯シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條 鹽製造者又ハ鹽賣買業者其ノ營業ニ關スル帳簿ノ記載ヲ怠リ若ハ虛偽ノ記載ヲ爲シタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條 検査ニ際シ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ若ハ支障ヲ加ヘタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第三十六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違犯シタル者ハ刑法ノ減輕再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用井ス

第三十七條 鹽製造者鹽賣買業者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ

發スル命令ノ規定ニ依リ營業者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 鹽製造者又ハ鹽賣買業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第三十九條 明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯則ニ之ヲ準用ス

第四十條 間接國稅犯則者處分法ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ違犯事件ニ之ヲ準用ス但シ同法ニ定メタル職務ヲ行フ官吏ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條 鹽製造者其ノ製造ノ許可ヲ取消サレ又ハ鹽製造者若ハ鹽賣買業者其ノ業務ヲ廢止スルモ製鹽場、貯藏場又ハ販賣場ニ鹽ノ現在スル間ハ仍本法ノ規定ヲ適用ス

附 則

第四十二條 本法ハ明治三十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第三條ハ本法發布後三十日ヲ經テ之ヲ施行ス

第四十三條 本法ハ勅令ヲ以テ指定シタル地方ニ之ヲ施行セス

第四十四條 本法施行ノ際製造者ノ所持スル鹽ハ政府ニ納付スヘシ此ノ場合ニ於テハ第十四條ニ準シ賠償金ヲ交付ス

本法施行ノ際鹽賣買業者ノ所持スル鹽ニ付テハ百斤ニ付金一圓五十錢ノ割合ニ依リ鹽稅ヲ納ムヘシ但シ鹽稅ノ徵收ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 本法施行ノ際鹽ヲ製造スル者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇月以内ニ本法ニ依リ許可

ヲ受クヘシ其ノ期間内ハ從前ノ業務ヲ繼續フルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ第八條第二項ノ規定ヲ適用セス

鹽專賣法案理由書

時局ニ鑑ミ財政ノ經營上今日ニ於テ鹽ノ專賣制度ヲ制定スルノ必要アリ是レ本案ヲ提出スル
所以ナリ

右法案ハ法制局ニテ審議中訂正ヲ可ナリト認ムヘキモノアリ又加除ヲ要スヘキモノアリタルヲ
以テ協議ノ末省議ヲ經テ改修ヲ加ヘタリ其ノ主ナル事項左ノ如シ

一 政府ヨリ賣渡シタル鹽ニ非サレハ所有シ所持シ讓渡シ質入シ又ハ消費スルヲ得サル禁制ヲ
明記シタルコト

一 製造業ト賣買業トハ同一場所ニ兼ヌルコトヲ得サルモ再製ニ在リテハ差支ナキヲ以テ除外
シタルコト

一 鹽ノ製造ヲ許可セサルコトヲ得ル場合ハ省令ノ規定ニ讓ルヲ可トシ之ヲ削リタルコト

一 一般定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニ對シテハ命令用途ニ使用シタルトキハ交付金ヲ下付スヘキ
規定ヲ加ヘタルコト

一 追徴代金ヲ定價ニ改メ之ヲ明ニシタルコト

一 他物ヲ混和シタル鹽ハ沒收スルヲ可トシ其ノ規定ヲ設ケタルコト

一 當該官吏ノ職務執行ニ際シテハ其ノ尋問ニ對シ虛偽ノ答辯ヲ爲シタル場合ヲモ處罰スヘキ
規定ヲ加ヘタルコト

一 犯人以外ノ所有セル鹽ヲ收納スル場合他物ヲ混和セルモノニ在リテハ賠償金ヲ交付セサル
コト

- 一 賠償金ハ現場賣買等ノ場合ニ於テ即時交付ノ必要アルニ依リ之カ前渡ヲ爲シ得ルコトト爲シタルコト
 - 一 鹽ノ移入輸入ハ取扱上見越ヲ避ケ得ヘキヲ以テ特ニ施行期日ヲ早ムルノ要ナキニ依リ例外施行期ヲ削リタルコト
 - 一 鹽稅ニ關スル事項及法發布前ヨリ製造スル者ニ對スル製鹽許可ニ關スル事項ハ直ニ施行スルヲ可トシ發布後滿二十日ヲ經テ施行ノコトニ改メタルコト
 - 一 鹽賣買業者ノ所持スル鹽ト雖販賣ノ目的ニ非サルモノハ課稅ヲ要セサルヘキヲ以テ其ノ旨ヲ明ニシタルコト
 - 一 鹽稅ヲ課スヘキ鹽ニ對シテハ調査ノ必要上鹽販賣業者ニ對シ數量及所在ヲ申告セシムルコトトシ其ノ制裁ヲ加ヘタルコト
 - 一 法律施行上之カ計畫ニ資スルノ必要アルニ依リ法發布前ヨリ鹽ヲ製造スル者ハ法發布ノ日ヨリ三箇月以内ニ許可ヲ受クヘキ規定ヲ設ケタルコト
- 右改修ノ上閣議ヲ決シ明治三十七年十一月三十日之ヲ衆議院ニ提出シタリ

鹽專賣法案

- 第一條 政府ハ鹽ノ專賣權ヲ有ス
- 第二條 政府ハ便宜ノ地ニ鹽取扱所ヲ設置シ鹽ノ收納及賣渡ヲ取扱ハシム
- 第三條 鹽ハ政府又ハ政府ノ命ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ外國ヨリ輸入シ又ハ本法ヲ施行セサル地ヨリ移入スルコトヲ得ス
- 第四條 鹽ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ製造スルコトヲ得ス
- 第五條 政府ヨリ賣渡シタル鹽ニ非サレハ所有シ所持シ讓渡シ質入シ又ハ消費スルコトヲ得

ス但シ納付期日前若ハ正當ノ事由ニ因リ納付ヲ遲延シタル場合ニ於テ又ハ製造者ノ自家用ノ爲所有所持スルハ此ノ限ニ在ラス

第六條 政府ハ製鹽地ノ區域又ハ鹽ノ製造期間若ハ生産高ヲ制限スルコトヲ得
前項ニ依ル制限ハ鹽ノ試製ニ之ヲ適用セス

第七條 鹽製造者ノ製造シタル鹽ハ政府之ヲ收納ス但シ命令ノ定ムル制限數量以内ノ鹽ニシテ鹽製造者ノ自家用ニ供スルモノ又ハ政府ヨリ賣渡シタル鹽ニ依リ再製シタル鹽ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 鹽ノ賠償價格ハ政府之ヲ定メ豫メ公示スヘシ

第九條 鹽ヲ製造セムトスル者ハ製鹽ノ方法採鹹地名地番製鹽段別製鹽場貯藏場及一年ノ生産見込高ヲ定メ政府ニ申請シ許可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第十條 鹽ノ製造業ト鹽ノ賣買業トハ同一ノ場所ニ於テ相兼ヌルコトヲ得ス但シ政府ノ賣渡シタル鹽ニ依リ再製スルハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 相續ニ因リ鹽ノ製造ヲ承繼シタルトキハ其ノ旨政府ニ届出ツヘシ
相續ニ因ルノ外鹽ノ製造ヲ承繼セムトスルトキハ政府ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條 鹽製造者鹽ノ製造ヲ廢止セムトスルトキハ少クトモ一箇月前ニ政府ニ申告スヘシ
但シ政府ノ許可ヲ受ケテ製造ヲ廢止スルハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 鹽製造者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ政府ハ製造ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十四條 鹽製造者鹽ヲ製造シタルトキハ總テ之ヲ政府ニ納付スヘシ但シ第七條但書ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

政府ハ鹽製造者ヲシテ前項ニ依リ納付スヘキ鹽ヲ其ノ指定シタル者ニ引渡スヘキコトヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府カ鹽ノ數量ヲ定メ引渡ヲ命シタルトキ製造者之ヲ政府ニ納付シタルモノト看做ス

第十五條 鹽製造者鹽ヲ納付シタルトキハ政府ハ鑑定人ヲシテ其ノ品質ヲ鑑定セシメ相當ノ賠償金ヲ交付スヘシ

製造者前項ノ鑑定ニ不服ナルトキハ再鑑定ヲ求ムルコトヲ得但シ賠償金ノ請求ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
再鑑定ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 鹽製造者ノ納付セムトスル鹽ニシテ其ノ品質甚シク粗惡ナルモノニ付テハ政府ハ更ニ相當ノ處理ヲ爲シタル上納付スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第十七條 政府ハ鹽ノ製造又ハ包裝ノ方法納付場所納付期日及其ノ運搬通路ヲ定ムルコトヲ得

第十八條 政府ハ定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スヘシ但シ必要ト認ムルトキハ競争ニ付スルコトヲ得

第十九條 左ニ掲クル鹽ニ付テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ定價ヲ以テ之ヲ賣渡スルコトヲ得

一 外國ニ輸出スルモノ

二 命令ヲ以テ指定スル用途ニ使用スルモノ

前條ニ依リテ賣渡シタル鹽ニシテ命令ノ定ムル用途ニ使用セラレタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ交付金ヲ下付ス

第二十條 政府ハ命令ヲ以テ定メタル數量以上ニ非サレハ鹽ノ賣渡ヲ爲サス

第二十一條 鹽賣買業者ハ鹽ニ他物ヲ混和シテ販賣スルコトヲ得ス

第二十二條 鹽製造者及鹽賣買業者ハ帳簿ヲ調製シ政府ノ指示ニ從ヒ營業ニ關スル要件ヲ記載スヘシ

載スヘシ

第二十三條 當該官吏ハ採鹹地、製鹽場、貯藏場其ノ他鹽ノ所在ト認ムル場所ニ立入り鹹水、鹽器具、器械、建築物又ハ帳簿書類ヲ検査スルコトヲ得

當該官吏監督上必要ト認ムルトキハ前項ノ物件ニ封印ヲ施スコトヲ得

第二十四條 當該官吏ハ運搬中ニ在ル鹽ヲ検査シ其ノ出所及到著先ヲ質問スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ當該官吏監督上必要ト認メタルトキハ其ノ運搬ヲ停止シ又ハ荷物若ハ船

車ニ封印ヲ施スコトヲ得

第二十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル

鹽ハ之ヲ沒收ス既ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ第十八條ノ賣渡定價ニ相當スル金額ヲ追徴ス

一 第三條、第四條又ハ第五條ニ違反シタル者

二 許可ヲ受ケサル土地ニ於テ鹽ヲ製造シタル者

三 情ヲ知リテ政府ヨリ賣渡ササル鹽ヲ讓受ケタル者

第二十六條 鹽製造者正當ノ事由ナクシテ政府ノ指定シタル者ニ引渡ヲ爲ササルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス政府ノ指定シタル運搬通路ニ依ラスシテ鹽ヲ運搬シタルトキ亦同シ

第二十七條 鹽製造者政府ノ定メタル製造期間外ニ於テ鹽ヲ製造シ又ハ政府ノ許可シタル場

所以外ニ於テ鹽ヲ製造シ若ハ貯藏シタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル鹽ハ之ヲ沒收ス情ヲ知リテ其ノ場所ヲ供與シタル者亦同シ

第二十八條 前條ニ該當スル場合ヲ除クノ外鹽製造者許可ヲ受ケスシテ第九條ニ依リ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第十條ニ違反シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 第十一條又ハ第十二條ニ違反シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 鹽賣買業者第二十一條ノ規定ニ違反シタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ犯罪ニ係ル物件ハ之ヲ沒收ス

第三十二條 鹽製造者又ハ鹽賣買業者其ノ營業ニ關スル帳簿ヲ調製セス又ハ其ノ記載ヲ怠リ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條 當該官吏ノ尋問ニ對シ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ之ヲ忌避シ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第三十四條 政府ヨリ賣渡ササル鹽ニシテ犯人以外ノ所有ニ係ルモノハ政府之ヲ收納ス此ノ場合ニ於テハ他物ヲ混和シタル鹽ヲ除クノ外第十五條ニ準シ賠償金ヲ交付ス

第三十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタル者ニハ刑法ノ減輕再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用井ス

第三十六條 鹽製造者鹽賣買業者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ當業者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 鹽製造者又ハ鹽賣買業者ハ其ノ代理人、戶主、家族同居者、雇人、其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第三十八條 間接國稅犯則者處分法及明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

間接國稅犯則者處分法中收稅官吏及稅務署長ニ屬スル職務ヲ行フヘキ官吏ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十九條 鹽製造者其ノ製造ノ許可ヲ取消サレ又ハ鹽製造者若ハ鹽賣買業者其ノ業務ヲ廢止スルモ製鹽場、貯藏場又ハ販賣場ニ鹽ノ現在スル間ハ仍本法ノ規定ヲ適用ス

第四十條 本法ニ依リ收納シタル鹽ノ賠償金ノ仕拂ニ關シテハ主任ノ官吏ニ現金前渡ヲ爲スコトヲ得

附 則

第四十一條 本法ハ明治三十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第四十四條第四項及第四十五條ハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條 本法ハ勅令ヲ以テ指定シタル地方ニ之ヲ施行セス

第四十三條 本法施行ノ際鹽消費者ノ所有ニ係ル鹽ニ關シテハ第五條ヲ適用セス

第四十四條 本法施行ノ際製造者ノ所有又ハ所持スル鹽ハ政府ニ納付スヘシ此ノ場合ニ於テハ第十五條ニ準シ賠償金ヲ交付ス

本法施行ノ際販賣ノ目的ヲ以テ所有シ又ハ所持スル鹽ニ付テハ百斤ニ付金一圓五十錢ノ割合ニ依リ鹽稅ヲ納ムヘシ

前項ノ鹽ヲ所有シ又ハ所持スル者ハ其ノ數量及所在ヲ政府ニ申告スヘシ申告ヲ怠リ又ハ不正ノ申告ヲ爲シタルトキハ其ノ數量ニ對スル税金ノ三倍ニ相當スル罰金ニ處ス

第二項ニ依ル納稅濟ノ鹽ハ政府ノ賣渡シタル鹽ト看做ス

納稅期日前ニ於ケル鹽ノ所有又ハ所持ニ關シテハ第五條ヲ適用セス

第四十五條 本法發布前ヨリ鹽ヲ製造スル者ハ本法發布ノ日ヨリ三箇月以内ニ命令ノ定ムル

所ニ依リ許可ヲ受クヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九條ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第四十六條 本法施行ノ際鹽ヲ製造スル者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇月以内ニ本法ニ依リ許可

ヲ受クヘシ其ノ期間内ハ鹽ノ製造ヲ爲スコトヲ得

鹽專賣法案ノ衆議院ニ提出セラレルルヤ十二月三日同院ニ於テ第一讀會ヲ開キ直ニ二十七名ノ委員付託トナリ續テ委員會ヲ開クコト四回其ノ間ニ於ケル質問及之ニ對スル政府委員ノ説明シタル梗概ヲ掲クレハ左ノ如シ

一 專賣ハ收入ノミヲ目的トスルヤ鹽ノ改良保護ヲモ目的トスルヤ

歲入ヲ目的トスルハ勿論ニシテ其ノ結果ハ鹽業ノ廢絶ヲ來タササルコトヲ期スヘキナリ

一 前期議會ニハ課稅トシテ法案ノ提出アリシニ昔年ナラスシテ專賣トナシタルハ如何ナル理由アリヤ

昨年ニ在リテモ一時消費稅ヲ課シ尋テ專賣ヲ施行スル考案ナリシモノニテ之ヲ變更シタル

ニ非ス

一 專賣ト爲サストモ課稅トシテ可ナラスヤ

一 千萬圓以上ノ收入ヲ得ルニハ課税ニテハ目的ヲ達シ難シ其ノ稅率カ價格ノ一割若ハ二割位ニ止マラムカ課税シ得サルニ非サルモ一倍又ハ一倍半ニ上ル收入ヲ得ムトスルニハ其ノ賦課ヲ受クヘキ製鹽業者ハ之ヲ轉嫁スルコト頗ル困難ニシテ遂ニ廢業ノ已ムヲ得サルニ至ルヘキ虞アリ

一 專賣ヲ施行スルトセハ臺灣ノ專賣トハ關係上如何ナル取扱ニ爲スヘキヤ之ヲ統一スルノ意ナキヤ

同シク專賣ナルヲ以テ將來ハ之ヲ統一スル方可ナルヘシト考フルモ現在ニ在リテハ鹽ノ收納ニ付テハ雙方同一ニ取扱ヒ得ヘシト雖賣渡手續ハ臺灣ニテハ土人ノ組合ニ賣下クルコトトナリ居リテ一朝自由制度ト爲シ難キモノアルニ依リ本案ハ臺灣ノ專賣ハ之ヲ別トシ内地ノ專賣ノミト爲シ臺灣ヨリ内地ニ移入スル鹽ハ政府カ必要ニ應シ臺灣總督府專賣局ヨリ買入ルル仕組ト爲スニ止メタリ

一 新ニ官廳ヲ設置スル場合ニハ宏壯ナル建物ヲ設ケ多數ノ官吏ヲ置クコト其ノ例多シ鹽取扱所ノ設置ハ如何ニセムトスルヤ

鹽ノ産額多キ場所ニハ新ニ役所ヲ特設スヘキモ産額寡少ナル土地ニ在リテハ現在ノ稅務官廳ヲ利用スル考ニシテ現在官廳ノ吏員ハ成ルヘク兼務セシムル方針ナリ而シテ其ノ廳舎ハ差向借家ニテ間ニ合ハスコトトシ借入ルヘキモノナキトキニ限り一時假建築ヲ爲ス計畫ニシテ手輕ヲ主トシ出來ルタケ經費ヲ節約セムトス

一 鹽取扱所ハ全國何箇所位ト爲スヘキ見込ナリヤ

新ニ設クヘキモノハ鹽ノ生産高多キ地方ニ六箇所ノ取扱所ヲ設ケ五十七箇所ノ出張所ヲ置クコトト爲セリ而シテ現在ノ官廳ニテ利用シ得ヘキモノハ之ヲ利用シ併置スル計畫ニシテ

前記ノ外ニ取扱所十五箇所出張所八十六箇所ヲ設クヘキ豫定ナリ

一 鹽取扱所ハ便宜ノ地ニ設クトアリ如何ナル土地ニ設クヘキヤ

役所ハ鹽ノ收納ニ便利ナル地ニ設クル積ニシテ結局鹽田所在地方ニ設クルコトトナルヘシ

鹽ノ賣渡ニ在リテハ從來鹽商人カ始終産地ヨリ回送シ各地ニ供給シ來レルヲ以テ其ノ慣行

ニ委セ政府ハ別ニ官廳ノ要ナキモノト考ヘ居レリ

一 法案第五條ニ所有シトアリ又所持シトアリ其ノ意義如何

鹽ハ政府ヨリ賣下タルモノニ非サレハ所有權ヲ有セサルコトヲ明ニシ尙所有權ヲ有セサル

ノミナラス所持スルコトヲモ禁止セルノ意ナリ

一 法案第六條ノ制限ハ如何ナル場合ニ行フヘキヤ

鹽ノ産額多クシテ過剩ヲ來サムカ專賣ヲ維持シ得サルニ至ルヘキヲ以テ或ハ製鹽ノ區域ヲ

制限シ或ハ其ノ期間ヲ制限シ或ハ又産額ヲ制限シ得ヘキ餘地ヲ留メタルモノナリ然レトモ

施行ノ初ニ於テハ多額ノ製造ヲ見ルカ如キコト非サルヘキ見込ニテ制限ヲ爲スカ如キ考ヲ

持セス殊ニ鹽田所在ノ製鹽ヲ制止スルカ如キコトハ事實爲シ得ヘキコトニ非ス

一 右制限ハ全體ノ生産高ニ比例シテ制限スル考ナリヤ或ハ一部ニ對シ制限スルコトアリヤ若

シ一部ニ對シ制限スルコトアリトセハ之ニ對シ相當ニ補償ヲ爲スヘキヤ

需要供給ノ關係ヲ參酌シ供給カ甚シク超過スル場合ニ於テ其ノ超過高ヲ適當ニ鹽梅シテ之

ヲ各製鹽者ニ通知シ制限スル見込ナリ

一 取締上不便トスル場所ニハ細則ニ於テ製鹽ヲ許可セサルコトト爲サムトスルモノノ如シ絶

對ニ製鹽ヲ許可セサルヤ

取締上不便ト認ムル場所ハ事實ノ問題ニシテ實際ニ於テ許可セサル如キコトハ殆トアラサ

ルヘシ偶、外洋ノ孤島等ニ在リテ出願スルコトアリトセムカ出張所ノ設置又ハ收納取締等經費ヲ要スヘキヲ以テ斯ノ如キ場合ニ在リテハ許可セサルコトヲ得ルノ餘地ヲ存スルノ必要アルニ依リ此ノ趣旨ニ基キ施行細則ニ規定スル考ヲ持セリ尤モ法ノ發布前ヨリ鹽ノ製造ヲ爲セルモノハ特ニ法案第四十五條ニ於テ許可ノ規定アリテ前述許可ノ條件ニハ關係ナキモノナリ

一 鹽ノ賠償價格ハ一年ヲ通シテ定ムルヤ或ハ又場所ニ依リ之ヲ區分スルヤ

賠償價格ハ一箇年ヲ通シ之ヲ定メ季節ニ依リ區別セサル積ニシテ各地ノ生産費ヲ勘案シ適當ニ區域ヲ分チ之ヲ定メムトス

一 製鹽業ト鹽賣買業トハ同一ノ場所ニ於テ相兼ヌルヲ得サルコトト爲セルモ製鹽地ニ在リテハ實際同一場所ヲ使用セルニ之ヲ禁スルニ至ラハ多大ノ困難ヲ感スヘシ之ヲ禁止スル理由如何

鹽ノ密賣ヲ防ク精神ニ出テタル規定ニシテ若シ同一場所ニ於テ一方製鹽ヲ爲シ他方ニテハ販賣スルコトヲ許サムカ殆ト十分ニ取締ヲ爲シ得サルノ虞アリ

一 法案第十四條ニ納付スヘキ鹽ヲ其ノ指定シタル者ニ引渡スヘキコトヲ命スルコトヲ得トアリ如何ナル取扱ナリヤ

納付ノ簡易手續ニシテ普通納付ノ場合ニハ收納官廳マテ鹽ノ運搬ヲ爲シ納付ノ手續ヲ爲ササルヘカラサルモ官廳ノ所在地ヨリ遠隔セル製鹽地ニ在リテハ其ノ運搬ニ多額ノ費用ヲ要シ納付上他ノ製鹽地ト權衡ヲ得サルニ依リ其ノ實狀ニ於テ簡易手續ニ依ラシムルヲ至當ト認ムル場所ニ在リテハ政府ハ鹽ノ引取人ヲ指定シ製鹽者ヲシテ其ノ引取人ニ鹽ヲ引渡サシメ之ヲ以テ納付ト看做スコトニ便法ヲ開キタルモノニシテ必竟鹽製造者ノ便利ヲ圖リタル

モノナリ

- 一 鹽ノ定價ヲ一石二圓五十錢ト爲シナカラ百斤ヲ一圓五十錢トスルハ違算ナラスヤ
- 鹽一石ハ大體二十七貫トシテ計算セルモ下リテ二十六貫ノモノアリ上リテ二十八貫以上ノモノアリ一定セス然レトモ大體ニ於テ二十七貫即チ百六十八斤七五ヲ相當トシ百斤一圓四十八錢餘トナルヲ以テ之ヲ切上ケ一圓五十錢ト爲シタルモノニシテ誤算ニ非ス
- 一 鹽ノ賣捌ハ免許制度ヲ採ラサルヤ
- 別ニ賣捌人ノ指定ヲ爲ササル積ナリ

一 法案第十九條ノ命令ヲ以テ指定スル用途トハ如何ナル用途ヲ云フヤ

醬油釀造用、曹達製造原料其ノ他遠洋漁業用ハ指定用途ト爲サムトス爰ニ遠洋漁業ト云フモ遠洋漁業獎勵法ニ所謂遠洋漁業トハ其ノ意味同一ナラス廣義ノ意ニシテ樺太ノ漁業ノ如キモ之ヲ包含セシメムトス

(參考トシテ開示シタル腹案左ノ如シ)

第一條 鹽專賣法第十九條第一項ニ依リ特別定價ヲ以テ賣渡ス鹽ハ外國ニ輸出スルモノノ外左ノ用途ニ使用スルモノニ限ル

- 一 番醬油以外ノ醬油及溜釀造用但シ自家用ノモノヲ除ク
- 二 曹達、硫酸曹達及晒粉製造用

第二條 第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニシテ其ノ目的ニ使用セラレサル場合ニ於テハ特別定價ト專賣法第十八條ノ賣渡定價トノ差額ニ相當スル金額及之ニ對スル年一割以內ノ利子ヲ追徵ス

前項ノ金額及利子ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收法ヲ準用ス

第三條 第一條第二號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニ關シテハ其ノ引取前使用ノ目的ニ反セサル範圍内ニ於テ一定ノ混和物ヲ混合セシムルコトアルヘシ

第四條 鹽專賣法第十八條ニ依リ賣渡シタル鹽ニシテ第一條又ハ左ノ用途ニ使用セラレタルトキハ特別定價ト鹽專賣法第十八條ノ賣渡定價トノ差額ニ相當スル交付金ヲ下付ス

一 鹽專賣法施行地ニ於テ練、鱸、鮭、鱈、鱈、鯧、鯨、膾、膾、膾、膾ヲ鹽藏シ之ヲ外國ニ輸出シタルトキ
二 遠洋又ハ外國ノ沿海ニ於テ漁獲物ヲ鹽藏シタルトキ

一番醬油ニハ課税ナキ爲メ之ヲ使用スル鹽ハ普通ノ價格ヲ以テ賣下クルコトトナレルモ番醬油ハ絞リ粕ニ鹽水ヲ混シタルモノニテ之ニ課税スルハ水ニ課税スルト同シカラスヤ殊ニ番醬油ハ中流以下ノ者ノ使用スルモノニシテ低價ト爲スヘキモノナラスヤ

醬油ハ課税アル故ニ其ノ使用鹽ヲ特別價格ト爲セルモ番醬油ハ課税ナキヲ以テ其ノ使用鹽ニ對シ特別價格トスルノ必要ナシ

一 内地重要鹽藏魚類ニ對シテハ其ノ使用鹽ヲ特別價格トスルノ要ナキヤ

之ヲ外國ニ輸出スルモノニ在リテハ免稅品トシテ取扱フヘキ理由アリト雖内地ニテ消費スルモノニ在リテハ之ヲ魚類鹽藏ニ供用スルハ恰モ味噌ノ釀造ニ鹽ヲ使用スルト更ニ異ナレルナク等シク内地ニテ消費スルモノニシテ特ニ魚類鹽藏ニ限り其ノ使用鹽ヲ特別價格ト爲スノ理由ヲ認ムル能ハス

一 法案第十八條ニ於テ必要ノ場合ニハ競賣ニ付スルコトトナリ居レリ必要ノ場合トハ如何ナル場合ナリヤ

競爭ニ付スル場合ハ殆ト實現セサルヘシト雖煙草專賣法施行ノ當初ニ於テ買受希望者カ多數役所ニ詰掛ケ競爭ヲ爲シ門前ヨリ投石シテ喧嘩シタルカ如キ事例アリシニ依リ必要ニ應

シ競争ニ付シ得ヘキ餘地ヲ存シタルモノニシテ樟腦專賣法ニモ同一ノ規定アルヲ以テ此ノ規程ヲ設ケタルニ他ナラス然レトモ曾テ未タ之ヲ適用シタル事實ナシ

一 鹽ハ水分ヲ含メルヲ以テ收納シタルトキト賣渡ストキトハ其ノ量同シカラサルヘシ如何ニ取扱フヘキヤ

收納スルトキモ賣渡ストキモ其ノ品質ヲ驗シ其ノ實量ニ據ルヘシ水分ノ滴下セル鹽ハ其ノ品質ハ上進スルヲ常トス

一 法案ニハ石ト斤ト兩ツナカラ用ヒアリ政府ハ如何ニ取扱フヘキヤ

研究ノ結果斤ヲ可ナリト認メ居レルモ從來石ヲ以テ取扱來レルモノナルニ依リ之ヲ可トスルノ說アリテ尙十分ニ詮議ノ餘地アリト考フルヲ以テ二様ニ規定シタリ尤モ現在ノ處斤ニテ取扱フコトニ調査ヲ爲シ居レリ

一 政府ハ凶年ノ準備トシテ鹽ノ貯藏ヲ爲スコトナキヤ

翌年ニ對スル豫備ノ積置ハ爲ササル考ニシテ毎年ノ所要高ハ一方ヨリ收納シ一方ニ拂下クルコトト爲サムトス但シ幾分ノ持越ハ免レサルヘキモ豫備トシテ貯藏スルカ如キ取扱ハ之ヲ爲ササル考ナリ

一 法施行ノ際ノ持越鹽モ一旦政府ニ收納スルコトト爲サハ特ニ課税ノ必要ナキニ非スヤ

煙草專賣法施行ノ際ニモ仲買人ノ所持セシモノハ之ヲ政府ニ買上タリ樟腦專賣法施行ノ際モ亦同シク仲買人又ハ販賣人カ所持セシモノハ一旦買上ケ之ヲ賣渡シタリ鹽專賣法案モ當初同一ニ立案セシモ各所ニ散在セル鹽ヲ悉ク收納セムトスルニハ非常ノ手數ヲ要シ多大ノ不便アリテ到底實行困難ナルニ依リ之ヲ收納スルコトヲ止メ課税ニ改案シタルナリ

一 專賣法施行ノ際持越スヘキ鹽ニ對シテハ何程ノ收入ヲ見込アリヤ

之ニ對シテハ別ニ收入トシテ計上シ在ラス

一 收入中ニ鹽稅ノ計上ナキ以上ハ別ニ課稅ノ必要ナキニ非スヤ

若シ鹽稅ナシトセハ明治三十八年度ノ收入ハ減少スヘシ何トナレハ專賣法施行迄ニ見越移入又ハ見越製造ヲ爲スコトトナルヘク之ヲ豫期スルトセハ見越タケハ控除シテ收入ヲ見積ラサルヘカラサルモ課稅ニ依リテ見越ヲ防キ得ヘキニ依リ六月以後平年分ノ收入即チ八百餘萬圓ヲ計上シ得タルモノナリ

一 專賣施行ノ際ニ於テ持越ト爲ルヘキ高ハ何程ナリヤ

概約千九百萬斤ノ持越アルヘキ見込ニシテ若シ課稅ナシトセハ見越持越高ハ約八千七百萬斤ノ多キニ上ルナラム

(此ノ算出基礎左ノ如シ)

專賣法第四十四條第二項ニ依リ同法施行ノ際徵收スヘキ鹽稅見積左ノ如シ

内地産鹽	專賣法施行ノ際 販賣店在高	上欄換算斤數	稅率	稅額
移入鹽	一、一五、三〇三 石	一、九、四五七、三八一 斤	百斤ニ付 一圓五十錢	二九一、八六〇 円
輸入鹽	三六二、一九九 斤	—	同	五、四三三
計	一、七、七〇、〇三三 斤	—	同	二五、五一五
	二、〇、〇〇、〇〇〇 斤	一、九、四五七、三八一 斤	同	三二二、八〇八

備考

本表販賣店在高ハ自一月産鹽高輸入高移入高ノ各十五分ノ一ト看做ス

專賣法第四十四條第二項鹽稅徵收ノ規定ナキ場合ニ於テハ左記ノ鹽ハ無稅品トシテ同法施行後ニ持越トナリ其ノ稅金額丈ハ專賣益金ヲ減少スヘシ

内地産鹽 輸入 移入 計	自一月至五月産鹽高 輸入高及移入高		見越即チ持越高	上欄換算斤數	稅率	稅額
	斤	斤				
	一、七二九、五四九	五、四三二、九九〇	五、一八、八六五	八七、五五八、四六八	百斤二付 一圓五十錢	一、三二二、三七七
	五、四三二、九九〇	二五、五一五、四七五	五、四三二、九九〇	—	同	八一、四九五
	一、七二九、五四九	五、一八、八六五	二五、五一五、四七五	—	同	三八二、七三二
	三〇、九四八、四六五	三〇、九四八、四六五	五、一八、八六五	八七、五五八、四六八	同	一、七七七、六〇四

備考

本表見越即チ持越高ハ自一月至五月産鹽高ノ三割及輸入高移入高ノ各倍數ト見做ス

一見越輸入ヲ防キ得ルトセハ課稅セスシテ可ナルヘキヤ

全ク見越輸入ナシトセハ課稅ノ條文ハ削除シテ可ナル如キモ政府ハ見越ナシトノ見込ヲ立

ツル能ハス

一漁業家カ漁業ニ使用ノ目的ニテ買入タル鹽ニ對シテモ尙課稅スルヤ

他ニ轉賣セサルトキハ課稅セラルルコトナシ

一專賣法ノ施行期限ヲ二月又ハ三月ニ繰上クルコトヲ得サルヤ如何ナル準備ヲ要スルヤ

非常ノ際ナルヲ以テ成ルヘク短縮シテ年度ノ更新期ヨリ實行シタシト考ヘシモ廳舎倉庫等

ノ準備ヲ要シ到底繰上クルコト難シ勿論施行當初ハ借家ヲ以テ之ニ充ツル筈ナルモ鹽田所

在地ニハ其ノ借家スラ乏シク直ニ之カ建築ヲ要スルアリ借家アリトテ多少ノ造作ヲ要シ如

何ニ急速ヲ計ルモ之カ準備ニハ四五箇月ノ期間ヲ要スルヲ以テ六月ヨリ施行ト爲シタルナ

リ

一臺灣ニテハ小栗某カ一手ニ特約ヲ受ケ内地ニ移入シ居レリト聞ク果シテ事實ナリトセハ其

ノ特約ニ年限ノ定ナキヤ

内地ニ販賣スル臺灣鹽ハ小栗某ノ手ヲ經ルコトトナレルカ如シ其ノ特約ニ年限アリトスル

モ專賣法發布セララル以上ハ之ニ遵由セサルヲ得サルヲ以テ政府又ハ政府ノ命ヲ受ケタル者ニ非サレハ移入スルヲ得サルヘキナリ

一 然ラハ其ノ特約者ハ法律ノ結果其ノ權利ヲ喪失スルコトトナルヘシ如何ニ處理スヘキヤ法律施行ノ結果契約ヲ破毀スルニ至ルヘキ否ヤハ不明ナルモ此ノ如キ場合ニ臨ミテハ臺灣當局者ト審議ヲ盡シ決定スヘキ見込ニシテ若シ從來ノ取扱者ヲ不適當ト認ムルトキハ必スシモ其ノ人ニ限ルノ要ナシト考フ

一 臺灣鹽ノ移入ハ取扱人ヲ一定スル考ナリヤ其ノ取扱ヲ命スル場合ニハ單ニ其ノ輸送ノミヲ命シ代金其ノ他金錢上ノ取極ハ政府之ニ任スルモノナリヤ

臺灣鹽ノ移入ハ臺灣總督府專賣局ト協議ノ上之ヲ爲ス筈ニシテ移入ニ經驗アル者ヲシテ之ヲ取扱ヲ爲サシムルカ或ハ政府ニ於テ之ヲ直營スルカ實際ノ便宜ニ依ル考ニシテ取扱者ヲ定ムル場合ニハ唯其ノ輸送ノミニ當ラシムヘキ考ナリ

一 政府ノ命ヲ受ケテ臺灣鹽ヲ移入スル者カ臺灣鹽ヲ廉價ニ買入レ之ヲ再製シ又ハ其ノ儘販賣スルトセハ歲入上大打撃トナルヘシ如何ニ取扱フヘキヤ
臺灣鹽ノ移入ヲ命シ指定ノ人ヲシテ取扱ハシムルトスルモ其ノ移入シタル鹽ハ政府ニ於テ之ヲ受入レ之ニ相當ノ益金ヲ加算シ内地鹽ト權衡ヲ失ハサル價格ヲ以テ賣渡ヲ爲シ別ニ市場ニテ競争ヲ見ルカ如キコトナカラシムル考ナリ

一 臺灣ニテハ内地ニ一億二千萬斤ノ鹽ヲ移入シ代金ハ百斤ニ付二十七錢弱ト豫算シアリ然ルニ内地ニ於テ專賣ヲ施行セハ臺灣總督府ニ於ケル豫算ニ影響セサルヤ

臺灣ニ於テ右ノ如キ豫算アリトスルモ内地專賣ノ計畫ナカリシ時ノ豫算ニテ内地專賣ノ實行ハ從來ノ輸入數量及内地ニ於ケル所要限度等ヲ考ヘ臺灣當局者ト交渉シ一億萬斤ハ移入

セサル見込ナリ尤モ臺灣ヨリ移入スル鹽ハ臺灣ニ於テ多額ノ利益ヲ見込在ラサルヲ以テ格別其ノ收益ニ影響スルコト在ラサルヘシ

前記諸多ノ質問ノ後法案各條ニ對シ討議ヲ爲シ修正意見ノ提出アリ就中持越鹽課稅ニ對シテハ議論最多ク中途懇話會ニ付シテ熟議ヲ圖リタル末修正案ニ對スル大藏大臣ノ言明等ヲ求メ之カ決定ヲ爲シタリ其ノ修正意見ノ概要左ノ如シ

一法案第三條中鹽ハ政府又ハ政府ノ命ヲ受ケノ下ニ若ハ其ノ許可ヲ受ケヲ加ヘ許可ヲ受ケタル者ハ鹽ノ輸入移入ヲ爲シ得ルコトトナシ次ニ政府ハ前項ニ依ル輸入若ハ移入ノ鹽ニ對シテハ其ノ數量ヲ制限スルコトヲ得ノ一項ヲ加ヘ尙第三項ニ本條ハ明治三十八年二月一日ヨリ施行ス_ト爲シ以テ見越輸入ヲ制シ法案第四十四條第二項ノ課稅ノ條項ヲ削除シタシ

右ハ法案第四十四條カ原案ノ如ク存置ニ決シタル爲修正ノ要ナキコトニ決定ス

一法案第十五條ニ於テ鑑定人ハ政府カ常置スルコトトナレルモ其ノ必要ナキモノト爲シ鹽製造者鹽ヲ納付シタルトキハノ下ヲ其ノ品質ヲ以テ相當賠償金ヲ交付スヘシニ改メ第二項ニ製造者前項ノ賠償金ニ不服ナルトキハ鑑定人ニ審査ヲ請求スルコトヲ得_ト爲シ鑑定人ノ一分ハ民間ヨリ選出シ一分ハ官吏ヨリ選出スルコトニ爲シタシ

右ハ品質ニ相當スル賠償金ヲ交付スルニハ之ニ經驗アル鑑定人ヲシテ鑑定セシムルノ必要アル旨政府委員ノ説明アリテ否決トナル

一法案第十八條ニ必要ト認ムルトキハ競賣ニ付スルコトヲ得トアリ競争行ハレ四圓ノモノハ五圓六圓ニ上ルコトナシト云フヘカラサルヲ以テ之ヲ否トシ此ノ但書ハ之ヲ削除シ更ニ一項ヲ加ヘ前項ノ定價ハ賠償金ヲ交付シ收納シタル鹽ニ付テハ賣渡當時ノ品質ニ相當スル賠償金ニ一石ニ付二圓五十錢又ハ百斤ニ付一圓五十錢ノ割合ノ金額ヲ加算シタルモノヲ超フ

ルヲ得ス」ト修正シタシ尤モ百斤ニ付一圓五十錢ハ一石二圓五十錢ノ割合ヲ以テ改算決定ヲ要スルコト

右ハ可決

一 法案第十九條中特ニ定メタル價格ヲ以テ賣渡スヘキ鹽ニハ内地重要鹽藏魚類ニ供スルモノヲモ追加規定シタシ

右ハ内地ニ於テ消費スヘキ鹽藏魚類ニ對シテ迄低價ト爲スノ必要ナキ旨政府委員ノ説明アリ結局取消トナル

一 法案第十九條中交付金ヲ下付スヘキ鹽ニハ賣渡後再製シタル鹽ヲモ追加シタシ外國ニ輸出シ又ハ命令ヲ以テ定メタル用途ニ使用スルトキハ再製シタル鹽ト雖交付金ノ下付ヲ受クヘキモノナルコトノ説明ヲ爲シ是亦取消トナル

一 法案第四十四條第二項ニ對スル修正意見ニ三アリ

一 持越鹽ニ對シテハ百斤ニ付一圓五十錢ノ割合ヲ以テ課稅スルコトトナレルモ當業者ノ說ニ據レハ百斤ハ大抵五斗三升位ニテ一石ニ付約三圓ニ當ル然ルニ市場ノ鹽價ハ二圓前後ニテ三圓ノ稅額ヲ加フルトキハ五圓以上ニ賣ルニ非サレハ利益ナシ若シ政府ノ賣下鹽カ四圓位ナリトセハ營業者ハ多大ノ壓迫ヲ蒙ムルコトトナルヘシ殊ニ課稅ノ有無ハ豫算ニハ何等影響ナク唯見越輸入ノ懸念アルノミナルモ是亦杞憂ニ過キサルヲ以テ全然削除シタシ尙又織物稅ハ賣上タルモノニ付一箇年ノ猶豫ヲ與ヘテ徵稅スルコトニ決定セルニ鹽ニ對シテハ其ノ持越ニ對シ直ニ賦課セララルハ權衡ヲ失ヘルノミナラス鹽商ニ對シテハ數十年數百年來ノ稼業ニ何等ノ特典ヲ與ヘサルノミナラス却テ重稅ヲ課スルハ不當ナルヲ以テ削除ヲ可トス

二 百斤ニ付一圓五十錢ノ課税トスレハ一石二圓五十三錢一厘トナリ一石二圓五十錢ノ加算額以上ニ上リ既製品ハ收納鹽以上ノ賦課ヲ受クルコトトナリ衡平ヲ得サルニ依リ一石ヲ二十七貫トシテ百斤一圓四十八錢一厘トナルヲ其ノ一割ヲ減シタルモノ即チ約一圓三十錢ノ課税ニ改メタシ

三 百斤一圓三十錢ハ尙高キニ失スルヲ以テ一圓ト爲シタシ

右ハ要求ニ依リ大藏大臣出席シ政府ニ於テ一圓三十錢ニ同意スヘキ旨ヲ言明シタルニ採決ノ結果全廢説ハ先ツ否決トナリ一圓説モ亦少數否決シ一圓三十錢説ハ出席人員ノ過半数ヲ以テ可決トナレリ

尋テ十二月十七日第一讀會ヲ續開シ本議ニ上リシニ鹽ハ貧富ノ差別ナク一樣ニ一定ノ量ヲ必要トスルモノニシテ之ニ對シ課税スルハ全國多數ノ細民ヲシテ生活ヲ困難ナラシメ多大ノ苦痛ヲ負ハシムルモノニシテ啻ニ課税トシテ不公平ナルノミナラス各種工業ニ障害ヲ與ヘ水産業ノ發達ヲ妨ケ經濟上ニ於テモ大ニ不利益ナルモノニシテ假令時局ニ於テ必要已ムヲ得サルモノアリトスルモ今日尙他ニ税源ヲ求メ得ラレサルニ非サルヲ以テ之ヲ消費税ト爲スト將亦專賣ト爲ストヲ問ハス此ノ如キ惡税ハ絶對ニ反對セサルヲ得ストノ論アリ而シテ議事ノ進行ヲ見ムトスルヤ本案ノ如キ重大問題ヲ輕々ニ決議スルノ不可ナルヲ唱フル者アリシモ大勢既ニ定マリ直ニ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シ委員會修正通可決確定シタリ

右法案ハ衆議院ニ於テ即日貴族院ニ送付シ貴族院ニ於テハ同月二十一日第一讀會ヲ開キ十五名ノ委員付託トナセリ同委員會ニ於ケル質問及之ニ對スル政府委員ノ説明ノ概要ハ左ノ如シ

一 課税ト爲サスシテ專賣ト爲シタル理由如何

若シ課税トセムカ明治三十八年度ニ於テ八百萬圓同三十九年度以後ニ於テ一千萬圓以上ノ

收入ヲ得ルコト難シ何トナレハ鹽ハ必需品ナルヲ以テ其ノ課稅ハ結局轉嫁スヘキモノナルヘキモ高率ノ課稅ニ在リテハ製鹽業者ハ當分其ノ負擔ヲ轉嫁スルノ困難アルヘク延テ鹽業廢止ノ窮狀ニ陷ルノ憂アルヲ以テ此ノ如キ多額ノ收入ヲ得ムトスルニハ專賣ニ依ラサルヲ得サルナリ

一 臺灣鹽ノ爲メ内地製鹽ヲ壓迫セラレルコトナキヤ

臺灣鹽ノ移入ハ臺灣專賣局ト交渉シ内地ニ於ケル需要高ヲ勘案シ一定量ヲ限り其ノ以上ハ移入セサルヘキヲ以テ別段内地製鹽ニ影響スルコトナシ

一 法案第六條ニ於テ鹽ノ製造ヲ制限スルコトトナレリ三八法ノ如キ制度ヲ採ラムトスルモノナリヤ

法律施行ノ際ニ於テハ何等制限ヲ加ヘサル考ナルモ若シ生産過剩ヲ來ス場合ニ在リテハ或ハ期間ノ制限ヲ必要トスルコトナシトセサルモ今日ノ處直ニ三八法ヲ施行スルカ如キ意ナシ

一 政府ハ賠償金ノ定メ方如何ニ依リ製鹽ノ廢滅ヲモ爲シ得ヘシ如何ナル方針ナリヤ

生産費ノ高キ地方ハ賠償金モ亦之ニ伴ヒ高クシ生産費ノ低キ地方ハ之ヲ低クシ相當ノ價格ヲ以テ定ムヘク生産事業ヲ廢滅セシムルカ如キ手段ハ之ヲ採ラサルヘシ

一 法案第十九條中衆議院ニ於テ競争入札ノ一條ヲ削リタルハ如何ナル理由ナリシヤ

競争入札ノ規定ハ葉煙草專賣ノ例ニ依リタルモノニテ之ヲ適用スル場合ハ殆ト無カルヘシト信ス煙草カ一時品少ナクシテ多數ノ買付アリ專賣局ニ於テ拂下ニ困難シタルコトアリ此ノ如キ場合ニハ競争ニ付スルヲ便ナリト認メ規定シタルニ過キス然レトモ煙草モ此ノ如キ現象ヲ見シハ僅ニ一年ニシテ曾テ適用ヲ見ルニ至ラザリシナリ樟腦專賣法ニモ同一規定ア

ルヲ以テ之ニ倣ヒ此ノ規定ヲ爲シタルモノトス衆議院ニテ之ヲ削リタルハ專賣收益率ハ政府カ隨意ニ之ヲ引上クルコト煙草ノ如クナルヲ非トシ法律ニ於テ其ノ限度ヲ定ムルコトトナシタル結果競争ニ付スルハ價格ノ引上ヲ免レサルニ至ルヘキヲ以テ之ヲ削除スヘシトノ趣旨ニ出テシモノナリ

一 專賣ハ收入ヲ目的トスルハ勿論ナルモ鹽田ノ維持モ必要ナリ曾テ政府ハ鹽業調査所ヲ設ケ又調査會ヲモ開設シタルコトアリテ民業ニ放任スルトキハ其ノ改善期シ難キモノアリ政府ニ於ケル意向如何

鹽ヲ以テ專賣ヲ目的ト爲シタル以上ハ鹽業ノ維持ハ勿論之カ發達ニ努ムヘキハ當然ニシテ十分ニ意ヲ用フヘシ

一 燒鹽ハ如何ニ取扱フヤ

再製シタル鹽ナルヲ以テ收納ハ之ヲ爲ササルモ之カ製造ハ同様ニ許可ヲ要スルモノナリ

一 賠償價格ハ季節ニ依リ變更スル考ナリヤ

一 箇年ヲ通シテ之ヲ定ムルコトトナシ季節ニ依リ變更セス

一 許可ノ取消ハ如何ナル場合ニ之ヲ行フヤ

製鹽許可ノ取消ハ專賣維持上必要ノ場合ニ於テノミ之ヲ行フニ止メ容易ニ之ヲ爲スモノニ非ス

一 試製モ尙免許ヲ要スルヤ

試製ト雖等シク鹽製造ニシテ許可ヲ要シ其ノ製鹽ハ納付スヘキモノトス

一 自家用ノ鹽ハ何程位ニ限ルヘキヤ

一人ニ付二十斤位ノ考ナリ

一 鹽ノ製造ヲ爲セル者ト雖其ノ販賣ヲ爲シ得ヘキヤ

同一場所ニ在リテハ取締上許容シ難キモ場所ヲ異ニスルトキハ同一人ニテ製造販賣ヲ爲シ得ヘシ

一 製鹽業者ノ廢業ハ自由ナリヤ

一 箇月前ニ申告シテ廢業スルハ差支ナキモ申告ナクシテ廢業スルトキハ制裁アリ之レ豫定ノ製鹽ハ政府ノ收入ニ影響スルモノナルヲ以テ許可ヲ受ケタル者ハ豫定ノ製鹽ヲ爲サシムトスルニ在リ

一 賠償價格ハ何ニ依リテ之ヲ定ムルヤ
生産費及濱相場等ヲ調査シ決定スル考ナリ

一 鹽ニハ記號ヲ付スルヤ又之カ取扱ハ重量ト爲スヘキヤ容量ト爲スヘキヤ重量ト爲ストキハ品質ヲ劣惡ナラシムルノ虞ナキヤ
今尙調査中ニ在リ

一 如何ナル物ヲ以テ特別定價ト爲サムトスルヤ
鹽ニテ歲入ヲ得ムトセハ直接飲食ニ用フルモノノミナラス間接ニ使用スルモノト雖歲入ヲ得ルコトトナササルヘカラス際限ナク除外スルトキハ歲入ヲ得ルコト難キヲ以テ晒粉、曹達等ノ製造用ニ止メムトス醬油ノ如キ課稅品ニ在リテハ之ヲ一樣ニ取扱フトキハ二重ノ負擔トナルヘキヲ以テ之亦除外セサルヘカラス其ノ他漁業ニ在リテハ廣ク之ヲ除外スル能ハサルモ遠洋又ハ外國ノ沿岸ニ於テ漁業ニ使用スルモノ又ハ鮭、鱒、鯨、臘肉獸等ヲ鹽藏シ外國ニ輸出スルモノノ如キハ除外ノ要アルヘク今研究中ニ在リ

一 衆議院ニテ鹽稅ヲ百斤ニ付一圓三十錢ニ修正シタル理由如何

衆議院ニテ一圓三十錢トシタルハ一石ヲ二十七貫トスレハ一石二圓五十錢ノモノハ百斤一

圓五十錢トナラスシテ一圓四十八錢一厘トナル而シテ其ノ持越鹽ハ市場ニ出テタルモノナルヲ以テ金利モ掛リ居レルニヨリ幾何カ減價スルヲ相當ナリトシ一圓三十錢ト爲シタルモノナリ

委員會ニ於テハ時局ニ於テ必要已ムヘカラストシ全會一致ヲ以テ衆議院ノ修正通可決シタリ尋テ十二月二十六日第一讀會ヲ續開シ委員會ノ經過報告アリ直ニ第二讀會及第三讀會ヲ開キ何等異議ナク衆議院修正通可決確定シ即日裁可奏請ノ手續ヲ爲シタリ

以上述フル如ク帝國議會ハ政府提出案ニ二箇ノ修正ヲ加ヘタリ

一 鹽ノ賣渡ヲ競争ニ付スルヲ得ルコトノ規定ヲ削除シ鹽ハ必ス定價ヲ以テ賣渡スヘキモノト爲シ内地製鹽ノ定價ハ賠償金ニ一石ニ付二圓五十錢又ハ百斤ニ付一圓四十八錢ノ割合ノ金額ヲ加算シタルモノヲ超ヘテ之ヲ定ムルコトヲ得スト爲セリ

右ノ修正ハ政府ノ計畫ヲ變更シタルモノニ非スシテ單ニ政府ノ計畫シタル定價ヲ以テ定價ノ最高限ト爲スコトヲ法文ニ明記シ之ヲ超ヘテ定價ヲ定ムトスルトキハ更ニ帝國議會ノ協贊ヲ求メシメムトシタルニ過キス

一 鹽專賣法施行ノ際販賣ノ目的ヲ以テ持越シタル鹽ニ對スル税金百斤ニ付一圓五十錢ノ割合ヲ百斤ニ付一圓三十錢ニ低減シタリ

右ノ修正ニ付テハ政府ハ持越鹽ニ對シテハ專賣收益率ト同一ノ課稅ヲ爲シ見越製造又ハ見越輸入ヲ防遏スルト同時ニ持越鹽ノ多量ヨリ生スヘキ鹽取引ノ變態ヲ豫防セムトシタルモノナリシカ帝國議會ハ其ノ稅率ヲ輕減シ專賣收益率ニ比シ百斤ニ付十八錢ノ差アルニ至ラシメタリ故ニ專賣施行前ヨリ持越シタル鹽ヲ販賣スル者ハ專賣後賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ販賣スル者ニ比シ其ノ差額ヲ利益スルコトト爲リタリ